

日本の希望の未来は
オホーツク・宗谷から始まる

ニッポンを
新たに!

LIBERAL & DEMOCRATIC 自由民主
北海道 第12選挙区版
発行所: 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話: 東京03(3581)6211(代表)(毎週火曜日発行)
令和8年1月13日(火)発行
号外

武部 あらたさん

衆議院議員・自民党道連会長

自民党政務調査会副会長 兼 事務局長を務める武部あらたさんは、文部科学副大臣や農林水産副大臣などの要職を歴任してきた経験、高い政策実行力で高市早苗総理を支えています。令和7年の参院選では党道連会長として先頭に立ち、かつてない厳しい逆風の中、2議席死守に貢献しました。物価高や人口減少など山積する課題の解決に挑み、オホーツク・宗谷から日本の未来を切り拓くため全力を挙げています。

ごあいさつ

わが国初の女性総理大臣、高市早苗内閣が誕生し、国民世論の高い支持を得て、「新しい時代、新しい政治」の幕開けを感じます。

わが国は歴史的転換点を迎えてます。さらに年明けから世界情勢は大きく変動し、内外ともに予断を許さない状況です。高市総理は、物価高から暮らしを守り、強い経済を実現する総合経済対策を実行し、「今日よりも明日は良くなる」、うした実感を持てるよう「日本列島を、強く豊かにする」ために全力をあげています。

与野党との協力を得ながら、いわゆる「年収の壁」引上げに当たり、中間層も含めた幅広い現役世代を対象に、所得税負担の軽減を行うこととしました。さらに、給食費の抜本的負担軽減、いわゆる「給食の無償化」もこの4月から実施します。

「責任ある積極財政」を展開し、未来を見据えた大胆な投資で力強い経済成長へつなげていくためには、政権のさらなる安定が必要です。私は、盟友である小林鷹之政調会長とともに政調副会長 兼 事務局長として高市総理を支え、日本と日本人の底力を引き出し、日本の「新しい時代」「新しい政治」を切り拓いていく所存です。

「ニッポンを新たに」の気概に燃え、「オホーツク・宗谷の新時代」をめざし、ふるさとオホーツク・宗谷の皆さんとともに頑張りたい。皆さん!日本の希望の未来は、われらオホーツク・宗谷から始めようではありませんか。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

衆議院議員 武部 新

政策実行力に大いに期待しています



自民党総裁、内閣総理大臣 高市 早苗

わが党の中堅・若手国会議員のリーダーである武部新さんは、これまでに文部科学副大臣や農林水産副大臣等を歴任され、党では離島・半島振興特別委員会委員長の要職を担うなど、わが国の確かな未来を切り拓くために活躍されています。

物価高への対応をはじめ、食料安全保障、教育制度改革、憲法改正や政治改革といった待ったなしの課題を解決し、日本を再起させるには、地域に暮らすお一人お一人に寄り添った政治を進めてきた武部新さんの力が必要です。自民党政務調査会副会長 兼 事務局長として政策の取りまとめに実行力を発揮し、今後ますますご活躍されることを心より期待しています。

武部あらたさんのプロフィール

- 昭和45年7月20日、斜里町生まれ
- 北見市立高栄中学校卒
- 道立札幌南高等学校卒
- 早稲田大学法学部卒
- 日本興業銀行(現みずほフィナンシャルグループ)入行、平成12年退社
- 平成15年 米国シカゴ大学公共政策大学院修士課程修了
- 平成15年 武部勤衆議院議員秘書
- 平成24年 衆議院議員初当選(当選5回)
- 文部科学副大臣、農林水産副大臣、衆議院法務委員長、自民党農林部会長などを歴任。現在、自民党政務調査会副会長 兼 事務局長、自民党離島・半島振興特別委員長、自民党道連会長
- 著書/「突破口!」(武部勤氏共著)
- 趣味/読書、スポーツ(剣道2段)
- 好きなもの/ラーメン、いすし、牛乳
- 家族/妻と1男2女
- 好きな言葉/「信なくば立たず」

自民党北海道第十二選挙区支部

〒090-0833 北見市とん田東町603-1
TEL:0157-61-7711 FAX:0157-61-5110



ホームページ

「強い経済」を実現する総合経済対策

国民の皆さまの暮らしを守り、豊かさを実感していただくため、物価高対策、AI・半導体などへの投資促進による経済安全保障、防衛力・外交力の強化に向けて総額18.3兆円の一般会計補正予算を計上しました。

自民党政調会副会長兼事務局長として高市早苗総理に対し、総合経済対策について党の提言を申し入れ



生活の安全保障・物価高対策 約11.6兆円

ガソリン、電気・ガス料金の負担軽減

●ガソリン価格

暫定税率の廃止により

1世帯あたり 12,000円程度値下げ

※2人以上世帯の年間ガソリン購入量431.10をもとに算出
ガソリン25.1円／ℓ、軽油17.1円／ℓの暫定税率廃止(ガソリンは12月31日、軽油は令和8年4月1日)に先立ち、すでに廃止と同水準まで価格を引き下げ

●電気・ガス料金

電力使用量が最も大きい1~3月に支援

3カ月で合計 7,300円程度値下げ

※電気使用量は当該月の2人以上世帯の電力購入量の全国平均値、ガス使用量は当該月の家庭用の都市ガスの使用量の平均値を想定

・電気料金 低圧契約 4.5円／kWh

高圧契約 2.3円／kWh

・都市ガス料金 18円／m³

子育て世帯への支援

●子ども1人あたり2万円を支給

※0歳～高校3年生まで。平成19年4月2日から令和8年3月31日までに出生した子どもが対象



所得税「年収の壁」見直し

●納税者1人あたり2～4万円程度の減税

(2025年12月の年末調整から)

重点支援地方交付金の拡充



(支援内容は自治体ごとに決定)

家計支援枠 1世帯あたり1万円程度

※例: LPガス使用世帯支援、水道料金の減免など

食料品の物価高騰に対する特別加算

1人あたり+3,000円程度

※例: プレミアム商品券、おこめ券など

危機管理投資・成長投資 約7.2兆円

●経済安全保障の強化

・AI・半導体への投資促進 ・造船能力の向上により造船産業を再生
・官民のロケット開発支援など宇宙分野を成長産業へ など

●食料安全保障の確立

・農地の大区画化 ・共同利用施設等の再編集約
・スマート農業技術の開発・導入 ・輸出産地の育成 など

●エネルギー・資源安全保障の強化

●防災・減災・国土強靭化の推進

●健康医療安全保障の構築、人への投資促進

令和8年度からスタート!子育て支援、教育の充実

●いわゆる高校の無償化

所得制限なし 支給基準額: 11万8,800円(公立) 45万7,200円(私立)

●学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食の無償化)

対象: 公立小学校 支援基準額(児童一人当たり): 5,200円／月



高規格道路の整備が進んでいます!

●北海道横断自動車道

(女満別空港～網走・呼人・端野～高野)

●旭川・紋別自動車道(遠軽～上湧別)

●遠軽北見道路(生田原道路)

農業構造転換を5年で集中的に取り組みます!

●農地の大区画化、農業基盤整備

●共同利用施設の再編集約・合理化

●スマート技術の開発と生産方式の転換・実装

●輸出産地の育成、等